

安城市のデンパーク近くの水田で19日、「ふれあい田んぼアート2013」の田植えイベントが開かれた。ことは、新美南吉生誕100年を記念し、南吉の肖像画とごんぎつねのデザインを採用した。一般約500人を含む800人が参加。会場では、安城市の伝統食のふるまいや、食育イベントが開かれた。

## 田植えでアート「ごんぎつね」



田植えをする親子ら

農家や市主催 800人参加

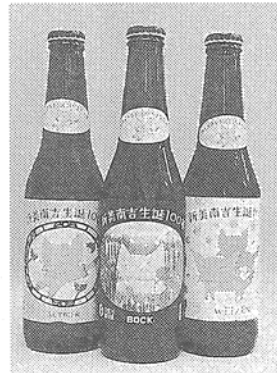
4色の葉の稲を使い分けて、約3千平方メートルの水田に絵を描く。7月上旬ごろから見ごろを迎えるという。このイベントは、ことしで7年目を迎える。地元農家や安城市、地元農産物を加工する企業などで構成する実行委員会が主催。農業への理解を深めてもらうとともに、農作物の生産者や加工者、消費者の交流の場の創出を狙っている。(安城)

## 安城と南吉 生誕100年 深まる絆

地ビール醸造の安城デンビール(本社安城市赤松町梶1、石川伸社長、電話0566・92・7755)は19日、新美南吉生誕100年を記念し、代表作「ごんぎつね」を描いたラベルのびんビールを発売した。

福祉活動の一環として、愛知県立安城養護学校高等部3年の岡田知子さんに制作を依頼。50点余りのデザインから、

安城デンビール 記念商品



3種類のラベル 安城養護学校の生徒が制作した

レストラン「ホレ・フェスト」、アピタ安城南店などでも取り扱う。デンパーク開設と同時に

## 生徒がデザイン「ごんぎつね」

地ビールの種類に合わせて3枚の作品を採用した。ヴァイツェン、アルトビア、ボックの3種類で各5千本の限定販売。いずれも330ミリ入り、価格は580円。デンパーク内の併設地ビール醸造を始めて16年になるが、ラベル変更は初めて。石川社長は「南吉の童話と同様に、みなさんに末永く愛されるビールにしたい」と話す。(安城)